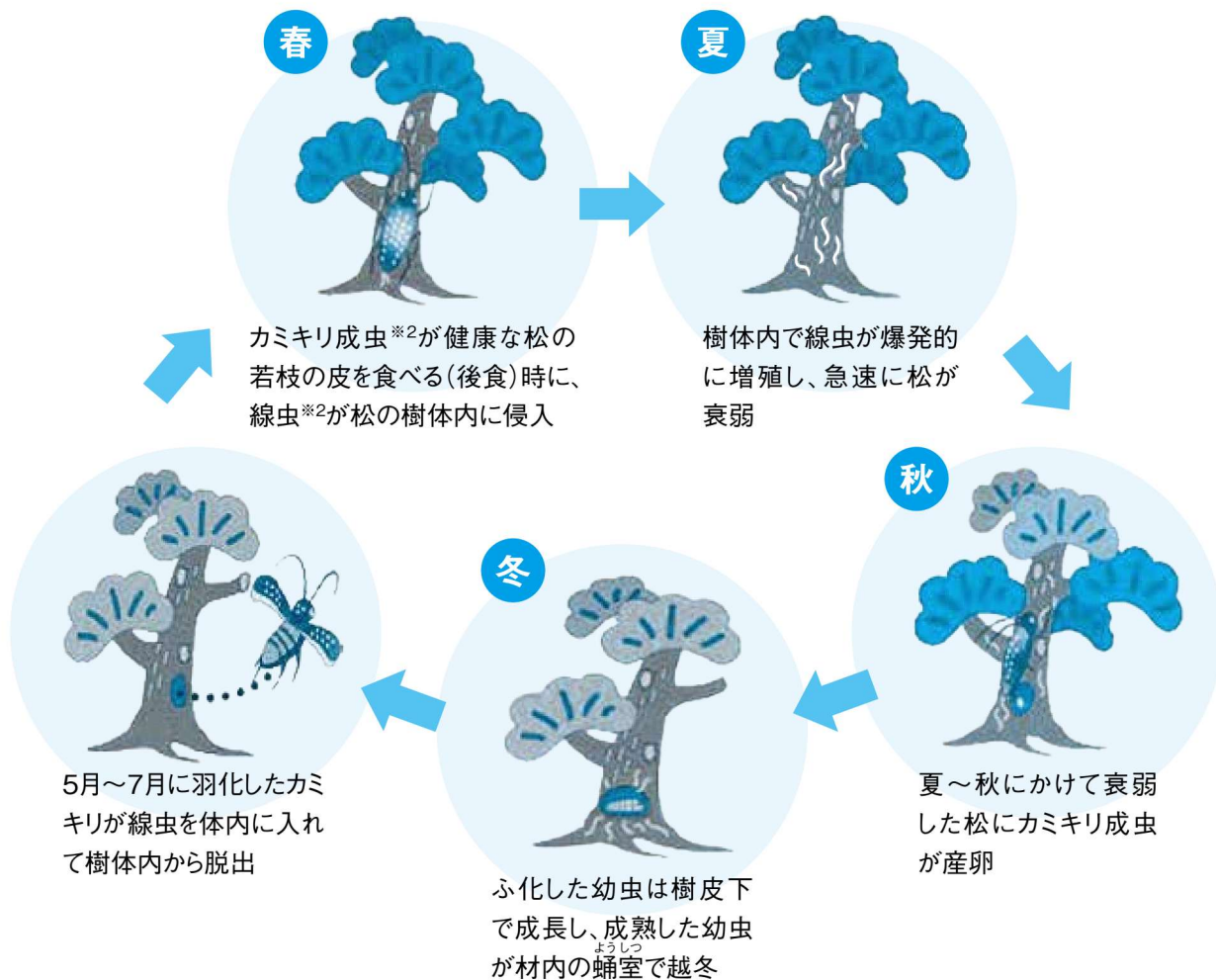


松くい虫被害の発生メカニズム※¹



※¹ 発生メカニズムについて、被害の発生時期などは地域の気候などによって異なるため、おおよその季節を記載しています。

※² 「カミキリ」とは「マツノマダラカミキリ」を、「線虫」とは「マツノサイセンチュウ」のことをそれぞれ指します。

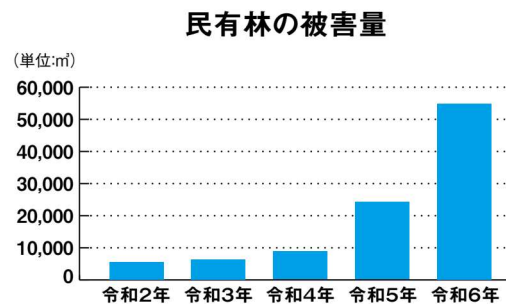
出典：林野庁ホームページ「松くい虫被害について」<https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/higai/attach/pdf/matukui-5.pdf> を加工して作成

松くい虫による本市の民有林の被害状況

(単位:㎡)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
民有林の被害量	5,632	6,446	8,859	24,239	54,907

出典:令和7年度第1回庄内海岸林松くい虫被害対策強化プロジェクト会議資料



つながる 声 のひろば

市役所への手紙や市ホームページの「市へのご意見」など、皆さんからいただいたご意見にお答えします。

今回は、松くい虫対策に寄せられた声にお答えします。

園農林水産課水産林業振興係 ☎43-8708

Q1 最近、市内のあちこちで松が茶色く枯れているのを見かけます。松くい虫の被害と聞きましたが、市ではどんな対策をしているのですか？

A1 近年、松くい虫による松の被害が急速に拡大し、強風や飛砂から私たちの生活を守っている庄内地域の海岸林の松が大量に枯れる深刻な状況となっています。

松くい虫による松枯れは「マツノマダラカミキリ」という昆虫が運ぶ「マツノザイセンチュウ」という外来種の線虫が原因です。マツノザイセンチュウは体長1mmにも満たない小さな線虫ですが、松の樹体内に侵入すると爆発的に増殖し、通水障害などを引き起こして松を枯らしめます。

本市では、国や県の補助を受けて松くい虫対策を進めています。具体的には、県と協力して松くい虫の被害木調査を実施するとともに、松くい虫被害拡大を防ぐための伐倒、薬剤散布による松くい虫の駆除、倒木の恐れがある危険木の伐倒を行っています。現在は松くい虫の被害が急速に拡大していることから、主要道路沿いや通学路などにある危険な枯れ松の処理を優先的に進めています。

Q2 自分の畑や自宅の庭に生えている松が松くい虫の被害を受けています。市で処理してもらえますか？

A2 個人や団体が所有する土地に生えている松が松くい虫の被害を受けた場合は、原則として土地の所有者自らが伐倒や処理を行う必要があります。なおテープやナンバーが付いている枯れ松がありますが、これは行政による被害木調査の結果として付けられたものであり、市が処理を行うことを示すものではありません。

枯れ松が倒れて二次被害（住宅や農業用施設の損壊など）を引き起こした場合は、松の木が生えていた土地の所有者が責任を問われる可能性がありますので、早期の処理をお願いします。また枯れ松は乾燥して火がつきやすいため、林野火災に十分注意してください。



松くい虫被害木伐倒駆除支援補助金【募集準備中】

土地所有者がご自身の土地に生える枯れ松を処理する際に補助金を支給する制度があります（土地所有者の同意があれば、代理人が処理することもできます）。予算額に達したため現在は受け付けを停止していますが、今後は制度の改正と募集の再開に向けて準備を進めています。補助金の募集を開始した際には、市広報などでお知らせします。